

川内南中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	進捗状況（H20年度末現在）	進捗状況（H21年度末現在）	進捗状況（H22年度末現在）	地区審議計画	H18当初予算	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分
H17	1	隈之城	市道亦沢津～宮崎～勝目団地に至る区域は、道路幅が狭く事故につながる恐れがある。早急に道路の拡幅改良をお願いしたい。	建設維持課	3箇所拡幅の要望があり、2箇所は用水路に蓋をする事で解消出来るが土地改良区及び耕作者との協議が必要。1箇所は内カーブ側の取得で拡幅ができる	この路線については、現在カーブの箇所の検討をしており、測量等の委託を行う準備をしている	ぎんや歯科先について、道路拡幅の測量設計業務委託を実施した。	ぎんや歯科先について、道路拡幅工事を実施した。	残りの2箇所については、用水路に蓋をすることで解消可能であるが、土地改良区及び耕作者等との協議が必要のため、今後協議を進めて参りたい。	平成22年度は道路の舗装の要望があったことから舗装工事を実施した。用水路等の蓋については、土地改良区及び工作者等と協議して参りたい。		○	○				
H17	2	隈之城	山間部（青山林道・永野段市道）に電化製品などの投棄が絶えないので、対策を。いちき串木野市不法投棄についての相互対策を	環境課	監視パトロールを行い、不法投棄物の回収は、地域との協働で取り組んでまいりたい。いちき串木野市とも情報交換を行いパトロールの強化を図りたい	青山林道については、平成19年2月4日（日）に地元で撤去された大量のごみを、2月5日～6日までの間で市で回収（4.620kg）し、地域と連携を図った。今後引き続き対応を行いたい	隈之城町、中福良町の陸上自衛隊の入口や永野段を中心に山林の不法投棄物の撤去を2月17日（日）に約130名で実施され、約8トンの不法投棄ごみを回収した。回収したごみは2月18日～19日に市で川内クリーンセンターに搬入処分を行った。今後も地域と連携してごみの不法投棄防止活動を継続したい。		美化推進員と環境課で連携を取り、不法投棄回収を行っている。いちき串木野市からの不法投棄についても同行するなど連携を取っている。			○					○
H17	2	隈之城	防止柵についての回答が無かったように思う。原材料を支給していただければ地元でやってほしいと考えている	環境課	道路の脇に鉄線を張ることも必要かもしれない。環境美化推進条例でも罰金をもっているが、それでも不法投棄をされる状況。パトロールを徹底したい	引き続きパトロールに努める。防止柵については衛自連事業で「民有地不法投棄復旧・防止補助金」があり、経費の8割補助で5万円程度の補助制度があるので、補助制度を活用いただきたい。また、不法投棄の多い場所については、引き続きパトロールに努めたい。	防止柵については衛自連事業で「民有地不法投棄復旧・防止補助金」があり、経費の8割補助で5万円程度の補助制度があるので、補助制度を活用いただきたい。また、不法投棄の多い場所については、引き続きパトロールに努めたい。		不法投棄の防止のため、ロープを張るなどなされているが、美化推進員やコミュニティとも連携を取り、防止柵設置についても検討していきたい。			○					○
H17	2	隈之城	市の条例で、罰則を重くできないだろうか。条例の施行の仕方である程度は不法投棄を緩和できるのではないかと。	環境課	罰則は検察庁と協議をしなければならぬ。現在の罰金も全国の状況等を見ながら定めているので、特別に重くするという事はできない。	悪質な不法投棄については、警察に連絡している。平成18年度は9件を連絡し、うち5件が氏名が判明したため、投棄者による撤去及び始末書扱いとなった	悪質な不法投棄については、警察に連絡している。平成19年度は7件を連絡し、うち5件が氏名が判明したため、警察による厳重注意と投棄者によるごみの撤去を行わせた。		不法投棄悪質3件について、警察に通報し、厳重注意と自己回収指示がなされた。			○					○
H17	3	隈之城	セントピアには調理室が無くすこやかふれあいプラザと自治会館を利用している。調理室の横に和室を設ければ、利用価値が広がる	コミュニティ課	老朽化等による修繕・補修は毎年調査し危険性・緊急性を考慮し対応している。隈之城地区は大規模地区なので早急に施設整備について調査したい。	平成19年度改修予定	平成20年度に増築予定である。	平成20年度に和室及び調理室を増築した。				○					○
H17	4	隈之城	セントピアは施設管理がまちづくり公社だ。地区1万2千余の住民の協働と融資のひとつの目標として、地域に施設管理を	コミュニティ課	平成18年度中に隈之城地区コミュニティ協議会の管理能力が高まったと判断できれば、平成19年度の指定管理者としての検討もできるのではないかと	セントピアは、体育館等を有する全市民対象の大規模の生涯学習施設である。施設の利用度は高く、窓口を含め管理には常時の対応が必要である。指定管理については、そのような体制が整った団体としたい	セントピアは、全市民を対象とする、体育館等まである大規模の生涯学習施設であって施設の利用度も高く、窓口を含めた管理には常時の対応が必要な施設である。セントピアの指定管理については、今後もそのような体制が整った団体としたい。										○
H17	5	隈之城	一角池周辺に、水と緑に囲まれたすばらしい自然環境と景観を生かした「市民いこいの広場」となるような公園を	耕地課	一角池は農業用溜池であり公園の整備のみは行えない。将来的に農業用溜池としての必要がなくなれば整備していく方法もあるが、現在の状況では困難	回答のとおり	H17年度末と同じ	一角池は農業用ため池としての整備は完了している。土地改良事業としての公園化は無理である。	耕地課所管の土地改良事業としての公園化は無理である。	耕地課所管の土地改良事業としての公園化は無理である。							○
H17	6	永利	永利タイヨー付近より百次町を通り、隈之城大原野付近から隈之城インターへと計画予定のある道路について、早期着工を	建設政策課	本路線の百次町方面への延伸は現時点では構想段階で事業化の計画はない。状況を見ながら外環状線の必要性などについて判断をさせていただきます。	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり							
H17	7	永利	現在、医師会立市民病院付近で建設を中断している横井線の道路を今後整備していただきたい。	建設整備課	市民病院から道路を延ばし幹線道路と繋ぐと通過交通や大型タンク等が通る。市民病院や福祉の里の前に産業道路を通すことが良いのか検討が必要	整備順位の整理をお願いしたい	計画されていない。	計画の予定はない。	・未着手	・未着手							
H17	7	永利	また、永利地区の生活基盤となる横井・大原野線の新設を検討していただきたい。	建設整備課	市道百次・山田線を整備中であり、平成18年度完成を目指している。大きな構想の道路も必要だが、生活道路で整備されていないところが多くある。	整備順位の整理をお願いしたい	計画されていない。	計画の予定はない。	・未着手	・未着手							
H17	8	永利	現在永利小学校の体育館は老朽化が著しく行事等の際には寒い。一刻も早く新しい体育館を建設し行事等が支障なく実施できる状態に	教育総務課	市町村合併に伴い、小・中学校全てについて体育館を含めた校舎等の実態調査及び耐震化優先度調査を実施する予定。この調査結果を踏まえ検討していく	屋内運動場の基本調査において、老朽化による改築等の優先度が高い。実施計画において、予算要求していきたい	計画されていない。	平成20年度実施設計済 平成21年度改築予定				○					○
H17	9	永利	現在、永利地区コミュニティ協議会環境整備部において、日笠山観音付近に本年度からアジサイの苗1,000本を5カ年計画で植樹し、公園整備を進めている。市でも、登山道路や展望台等を建設し、市の公園として整備していただきたい。	林務水産課	林道日笠山線は補修できるが、日林道から日笠山観音付近までの未舗装部分は林道としての整備はできないが、生コンなどの原材料支給は可能。	現在のところ要望はない。今後も、生コンなどの原材料支給の要望があれば対応していきたい	現在のところ要望はない。今後も、生コンなどの原材料支給の要望があれば対応していきたい										○
H17	9	永利	この道路は日笠山観音への参拝や初日の出等に活用されていると聞いているが、今後この公園の利用が盛んになるようであれば整備について検討したい。	建設整備課		様子を見たい	公園事業としての計画はない。	同左	同左	・同左							
H17	その他	—	木場茶屋・都線について市で用地買収ができないのであれば、自治会から話をしについて用地買収がスムーズに進むよう協力する	建設整備課	用地買収については、ぜひ地元の方の協力をいただきたい。今年の3月までにはできるか分からないが、できるだけ早く進めていく	平成18年度完了	平成20年度バイパスから尾白江・木場茶屋線まで追加施工中。	平成20年度完了した。				○					○
H17	その他	—	合併し、市草、市民憲章、市花、市木等が早速決まって嬉しい限りである。新しい薩摩川内市にふさわしい市民歌をつくってほしい。	社会教育課	できるだけ早い時期に市民歌を制定できるように努力してまいりたい。	市制誕生5周年である平成21年度制定の方針 現在、制定に向けた作業を開始	市制誕生5周年である平成21年度制定の方針 現在、制定に向けた作業を開始					○					○
H17	その他	—	中央公民館2階の大研修室がアスベストで使用できない。現在、調査はどういう状況なのか、いつからまた使えるようになるのか	社会教育課	中央公民館の大研修室の状況については、現在設計が終わり、入札の手続きをしているところである。5月末の完成をめどに進めているところである。	平成18年度完了	平成18年度完了					○					○
H17	その他	—	杉の木が国の天然記念物であるオガタマの木に近づいており、オガタマの木を痛めている状況。行政でなんとかしていただけないか	文化課	オガタマの木として国の天然記念物に指定されているところの土地が民有地であるので、早速文化課で調査し、対応をしてまいりたいと思っている。	伐採を実施した	H17年度伐採済み。										○
H17	その他	—	未加入者対策は、自治会でも自助努力をしている。自治会の加入促進対策について、どうかお願いしたい。	コミュニティ課	転入の方は市民課の窓口で加入をお願いしている。未加入の方々にも、加入促進のハガキを送付している。広報紙掲載もきめ自治会加入促進を徹底したい	転入・転居者について、自治会の加入案内、未加入者へハガキ通知、宅建業者への依頼等により加入促進を実施していますが、市全体の加入率は、前年度比較をみると、横ばい状況です	これまでも未加入者対策として、加入案内や未加入者へのハガキ通知等を行い、加入促進を行っている。今後も加入率増を目指し、未加入者対策の検討を行っていききたい。										○

川内南中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区調 査計画	H18当 初予算	H20当 初	H21当 初	H22当 初	H23当 初	完結分	
H17	その他	—	ふれあい市民会議が開かれ大変有意義なことと思う。陳情・要望などの手段があるが、これらの取り扱いはどうされているのか	広報室	広報室で陳情・要望、請願、ご意見箱、市政モニター制度をやっている。決裁を受け回答するためになるべく時間がかからないような方法でやっている	回答の通り	回答のとおり										○	
H17	その他	—	もう2年近くになるが隈之城地区の踏み切りについて陳情、請願を出しているが、正式な回答をおらず、遮断機だけだった	建設維持課	陳情は回付し主管課に手続きをとるようにしてあったと記憶している。早速JR九州にお願いをし遮断機をつけていただいた。後日御連絡申し上げたい。	状況を見ながら、拡幅については検討してまいります	引き続き状況を見ながら、拡幅については検討してまいります	引き続き状況を見ながら、拡幅については検討してまいります	引き続き状況を見ながら、拡幅については検討して参りたい。	引き続き状況を見ながら、拡幅については検討して参りたい。								
H17	その他	—	JRではなく、市が踏切付近の道路の整備等をやってくれていない。小中学生だけで120数名の生徒の通学路になっている	建設維持課	陳情を受け、JRにお願いし踏切を改良することになったと記憶している。国、JR、市が三分の一の負担で改良している。道路の拡幅は非常に難しい	左記の通りであり、現段階では難しい	左記の通りであり、現段階では難しい	回答概要のとおりで、現段階では難しい。	回答概要のとおりで、現段階では難しい。	回答概要のとおりで、現段階では難しい。							○	
H17	その他	—	都インターが開通するのにあわせアクセス道路として、都～青山～百次線の整備をするという話だった。市道の整備は進んでいるのか	建設整備課	西回り高速自動車道の都インターの開通に合わせて、国道バイパスを4車線にする工事を行っている。その後従来の国道3号は県道と市道へ委譲される予定	都交差点から百次町県道川内郡山線までの市道百次・青山線は、2車線の改良済みであり、今後の対応としては、区画線設置等による交通安全施設整備に対応してまいります。なお、交通量調査等も実施予定である。	維持的整備中	維持課で継続的に交通安全対策を講じている	・未着手	・未着手								
H17	その他	—	勝目橋の拡幅工事と歩道について、本格的な歩道設置ではないので、今後本格的なものを設置する予定があるのか。	建設整備課	勝目橋は拡幅に億単位の金がかかるのでいかにして補強しながら使っていくかという結論になり、歩道の設置ができなかったという状況である。	左記の通りであり、現段階では難しい	左記の通りであり、現段階では難しい	20年度に建設整備課で歩道橋設置に向けた調査・測量設計を実施した。21年度より工事着工の予定である。(建設整備課)	・歩道橋下部完了	・完結(歩道)			○	○	○		○	
H17	その他	—	道路の問題を市役所に話をしにいくと予算がなくまわってこないと回答された。少しでも多くの予算を道路にまわしていただきたい	財政課	地方交付税を国が決定するのが7月なので、もし、当初予算で見積った額よりも多ければ道路維持の予算に回さなければいけないと思っている。	普通交付税が当初予算を53百万円上回り、道路維持費を150百万円増額補正した	市民からの要望の高い市道の整備については、可能な限り予算計上している。道路維持費(工事請負費)決算額 H18 277,302,386円 H19 374,991,015円 H20 388,738,000円(予算)										○	
H19	1	永利	和自治会内から白谷自治会までの県道36号線の道路が狭く急カーブで大型車が難航出来ない。又、永利小学校児童の登下校時も危険である。	建設政策課	川内郡山線につきましては、現在、市内宮崎町において歩道整備が実施されている。当該川内郡山線の百次町から市比野上及び藤本地区をはじめ、川内郡宮崎線の永利町から塔之原杉馬場地区など、朝夕の通勤車両や大型車両等の交通量が多いにも関わらず、道路幅員が狭くカーブも多く歩道も設置されていない路線がある。交通安全の確保や渋滞の解消を図るため、県に対し、改良等要望しているところである。しかしながら、現在県においては、当該地区を整備する計画はなく、また、厳しい財政状況に加え、事業の絞り込みも行われている状況で、新規の事業化は、整備中の区間の事業の進捗状況と財政状況等を見て判断するとの考えである。厳しい状況であるが、当該区間の整備の必要性については交通安全上も認識しており、今後も事業の実現に向けて県に対し、整備要望を行っていききたい。	回答のとおり	H21年度に道路改良工事予定	白谷自治会地区の一部について、道路改良整備済み。	ルート検討の道路予備設計を実施。									
H19	2	永利	現在地区コミュニティ協議会 環境整備部が日笠山観音付近に17年度からアジサイの苗1,000本の植樹5ヵ年計画で公園整備をすすめています。市も登山道路や展望台等建設し薩摩川内市の公園として建設を進めてもらいたい。	建設整備課	前回のふれあい市民会議においても、利用状況等調査し、検討したいと答弁したが、財政状況も厳しく、整備もままならない状況です。当面、地域の力を結束され、アジサイ園等整備していただければありがたい。市としても、必要に応じて原材料や植栽に必要な材料等の支給ができるよう検討していく。また、大変いい例として、峰山コミュニティ協議会で進めている柳山アグリランドも地域の力を結集して、提案公募型事業の採択を受けるなど、色んな知恵を出し合い整備を進めているので、参考にさせていただければと思う。	公園事業としての計画はない。	同左	同左	・同左									
H19				林務水産課	林道日笠山線については、平成17年度のふれあい市民会議で要望がありました維持補修について、洗越の改修工事及びコンクリート舗装の補修について、17年度中に実施している。今後も、林道区域内の維持補修については、逐次補修をしていく予定であるが、現地調査を行った結果、林道として維持補修を早急に実施する箇所はなかった。なお、当林道の除草作業については、毎年実施している。	要望のあった林道から公園への入口付近の整備については、20年度に実施した。林道の維持管理において、除草作業は毎年実施しており、補修については即対応している。											○	
H19	3	永利	外回り循環線の建設促進について、永利タイヨー付近より百次町を通り隈之城大原野付近から隈之城インターへと計画予定のある道路である。道路が出来ると県道42号線の渋滞の解消、インターへのアクセスがよくなり永利、隈之城の発展に寄与する。	都市計画課	外環状道路については、現在、中郷地区、田崎地区において一部完成し、天辰地区において土地区画整理事業と併せて整備を進めている。永利タイヨー付近より南側については、概ね10年以上の整備とされているところであるが、工事は未定である。南九州西回り自動車道薩摩川内郡インターチェンジへのアクセスについては、まず宮崎バイパスを活用することとし、その早期整備に向けて県に強く要望を行っている状況である。引き続き要望を行っていききたい。	永利地区の主要地方道川内加治木線から南九州西回り自動車道(薩摩川内郡IC)間については、平成元年度に調査した「川内市都市開発計画策定調査」の大まかなルート計画で、具体的なルート線形は決まっていない。南九州西回り自動車道「薩摩川内郡IC」へのアクセスについては、まず、内環状道路である宮崎バイパスを活用することとしており、その早期整備に向けて県に強く要望しているところである。平成19年度も要望活動を実施したところである。	永利地区の主要地方道川内加治木線から南九州西回り自動車道(薩摩川内郡IC)間については、平成元年度に調査した「川内市都市開発計画策定調査」の大まかなルート計画で、具体的なルート線形は決まっていない。南九州西回り自動車道「薩摩川内郡IC」へのアクセスについては、宮崎バイパスを活用することとしており、その早期整備に向けて県に強く要望しているところである。平成20年度も要望活動を実施したところである。	永利地区の主要地方道川内加治木線から南九州西回り自動車道(薩摩川内郡IC)間については、平成元年度に調査した「川内市都市開発計画策定調査」の大まかなルート計画で、具体的なルート線形は決まっていない。南九州西回り自動車道「薩摩川内郡IC」へのアクセスについては、宮崎バイパスを活用することとしており、その早期整備に向けて県に強く要望しているところである。平成21年度も要望活動を実施したところである。	永利地区の主要地方道川内加治木線から南九州西回り自動車道(薩摩川内郡IC)間については、平成元年度に調査した「川内市都市開発計画策定調査」の大まかなルート計画で、具体的なルート線形は決まっていない。南九州西回り自動車道「薩摩川内郡IC」へのアクセスについては、宮崎バイパスを活用することとしており、その早期整備に向けて県に強く要望しているところである。平成22年度も要望活動を実施したところである。									
H19	4	永利	現在市民病院付近で建設を中断している横井線の道路を今後整備してほしい。永利地区の生活基盤となる横井・大原野新設を行政の方で、再度検討していただきたい。	建設整備課	前回のふれあい市民会議でも答弁したが、国道・県道と連絡する幹線道路は大型タンク等の通過車両が多くなり沿道の市民病院、福祉関連の事業所等への騒音・振動または交通事故等影響等が懸念されるため、慎重な検討が必要と思われる。今後の道路整備については、校区内で優先順位を決めて頂き、要望道路の必要性や財政状況等を勘案しながら整備することになる。	計画されていない。	同左	・未着手	・未着手									

川内南中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区審議計画	H18当初予定	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分		
H19	5	永利	百次下府自治会松原坂の拡張について、坂が狭く急で曲がりくねっている為、車の運転時頂上付近では左右が確認しづらい。又、登下校時の児童が危ない。	建設整備課	当該道路である市道百次・赤津線は、県道川内郡山線と指摘の交差点までの高低差が大きく、規定の道路勾配が確保できないことから、抜本的な拡張改良は、難しい箇所であるため、平成14年ごろから蓄積の側溝の整備を行ない、一応完了している。頂上付近には、共同墓地もあり、隣切も容易に出来ない状況にある。交通安全対策として、予告マークや一時停止表示等にて事故防止や児童の安全確保に努めたい。		地形的条件で道路改良は、無理。交通安全面の整備を行なう。	建設維持課で検討中	・未着手	・未着手			○						
H19	6	隈之城	前回のふれあい市民会議で提案し、平成18年度に適地調査線の基本計画策定19年度～20年度当公園予定地区も基本計画に記載すると回答があったが、進捗状況を知りたい。	建設整備課	前回のふれあい市民会議において、ご要望の公園新設については19年度から策定予定の「緑の基本計画」に位置づけることとして答弁した。隈之城地区の公園計画については、隈之城地区全体からの利用を考慮して、場所の検討が必要であると思う。薩摩川内市緑の基本計画については、平成19年度から策定予定だったが、財政的な調整や都市計画区域の検討を行っていることから、策定期間を見合わせているところである。候補地の現地調査を、1月に行ったところだが、宮崎バイパス路線の計画もあることから、その状況を見ながら候補地を絞り込み、緑の基本計画に位置づけてまいりたい。		現在検討中。具体的計画はない。	同左	同左	同左	同左								
H19	7	隈之城	① 薩摩川内市には既に放射能漏れの恐れがある原子力発電所があるのに産業廃棄物最終処分場候補地として県が選定したことについて、市長の考えを聴かせてください。なぜ、県に対して拒否できなかったのですか。 ③ 8月18日隈之城地区コミュニティ協議会が産廃処分場建設について、その賛否を問うための臨時総会を開催しました。出席した代議員は63名で投票の結果建設反対41・賛成5・白紙17でした。3分の2が反対を表明しましたが、このことについて市長の考えを聴かせてください。 ④ 9月23日に県が実施したボーリング跡地での透水性水圧実験で15分不足で水位が11mm下がった。水位が下がった水がどこいったのか県から明確な回答はない。水が岩盤を浸透し地下水を汚染する恐れがあった場合の市の対応を聴かせてください。	環境課	①について、産業廃棄物管理型最終処分場の候補地に川永野地区が選定された経緯については、県の説明会、県作成のリーフレットや、これまでの新聞報道でご承知のことと思います。市としては、産業廃棄物管理型最終処分場は、本県における循環型社会の形成や企業誘致など地域産業の振興を図る上で必要な施設であることは認めるところである。そのために県が主体的に取り組んできた。地元説明会でもあったとおり、県の説明では、川永野地区が埋立容量等の一般的要件を満たしていることに加え、現地調査や所有企業が実施した調査結果を県が確認したところ、産業廃棄物管理型最終処分場の整備に当たって懸念される部分がほぼ解決できるところだった。また、県が産業廃棄物管理型最終処分場の候補地の選定の経緯・理由等について、地域の皆様方に説明し理解を求めていきたいとの意向であったこと、県としても調査を実施することであったため、県が調査を実施し、検証することが必要である。そして調査結果を踏まえ、市議会、地域の皆様方の意見を拝聴し、市の意見を述べることとしたところである。 次に③・④についてであるが隈之城地区コミュニティ協議会は48地区コミュニティ協議会の中でもモデル的なコミュニティ協議会として、みんなで明るい豊かな隈之城地区を創り上げている。今後、県の調査結果が出され、これに対する市議会や地域の皆様方の意見を拝聴し、市としての判断することになる。調査結果を待って結論を出すまでには、しばらく時間を要すると思う。なお、現在県では、ボーリングによる地質調査を行っており、9月23日に行われた静水圧透水実験の結果も含め、調査結果を取りまとめ、県産業廃棄物専門委員会の意見を聞いた上で、地域の方々や市議会にも説明をするつもりである。市としてもその説明を聞いた上で判断することになる。		昨年5月に県は川永野町を候補地と決定し、本年7月まで立地可能性等調査を実施されてきた。整備地決定とは、処分場の立地は可能であり、処分所を整備するためには、具体的な計画を進めていく手続きを始めることと理解している。これまでの県の立地可能性等調査結果によると、処分場を建設するために障害となるような欠陥や、周辺環境に影響を与える懸念される要素はない。本市議会も処分場建設促進の陳情を採択している。地域住民の中にもいろいろな意見があるが、その懸念に対しては県が引き続き説明し、全責任を持って安全・安心な施設の建設、運営に努めて行かれるとされており、知事もそのことを明言されている。以上を踏まえ、県が整備地に決定することについては、関係地域の住民感情を思うとき、複雑な思いも感ずるが、循環型社会の形成や、公共に利益に鑑み、真にやむを得ないと感ずる。今後法律や県要綱に基づき、処分場整備に必要な手続きを進めて行かれると思いますが、地域住民の懸念の解消や地元住民の参画等、解決しなければならぬ課題もありません。今後、施設の安全性、住民への説明責任、地域振興策について、切実な対応と丁寧な説明を県へお願いした。		県は薩摩川内市川永野地区の採石場跡地を候補地と選定し、立地可能性等調査を行ってきましたが、安全性の高い全国でもモデルとなるような施設の建設が可能であると判断し、9月8日に同地区を整備地に決定しました。 地域住民の中にもいろいろな意見があるが、その懸念に対しては県が引き続き説明し、全責任を持って安全・安心な施設の建設、運営に努めて行かれるとされており、知事もそのことを明言されている。 以上のことを踏まえ、県が整備地に決定したことについては、関係地域の住民感情を思うとき、複雑な思いも感ずるが、循環型社会の形成や、公共に利益に鑑み、真にやむを得ないと感ずる。 薩摩川内市長や市議会の意見、県議会の付帯決議、及びこれまでの住民説明会で出された意見などを十分に踏まえ、今後法律や県要綱に基づき、基本計画を策定し、基本設計や実施設計及び廃棄物処理法に基づく手続きを進め、処分場整備に必要な手続きを進めて行かれると思いますが、地域住民の懸念の解消や地元住民の参画等、解決しなければならぬ課題もありません。 今後、施設の安全性、住民への説明責任、地域振興策について、切実な対応と丁寧な説明を県へお願いした。		県は、基本計画・基本設計を策定し、基本計画概要については、関係自治体に説明を行っている。また、リスク管理や情報公開についての考え方も示し施設管理の全般にわたって、最終的な責任は鹿児島県が負うものとしている。 県へは、施設の安全性、住民への説明責任、地域振興策について、切実な対応と丁寧な説明をお願いしている。		鹿児島県環境整備公社は、県の指導要綱に基づく事前協議手続き及び廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理施設設置許可申請を行い、県は3月末に設置許可を出した。 また、公社、県、関係自治会のうち3自治会との間で産業廃棄物管理型最終処分場に係る基本協定及び環境保全協定、地域振興策に関する確認書を締結されたところである。 市との間においても環境保全協定を締結するよう協議中である。(H23、4協定締結) 関係自治会に対しては、引き続き誠実な対応と丁寧な説明をお願いしている。						○
H19	7	隈之城	② 建設候補地は隈之城の水源 冠嶽中腹に位置し、災害危険地域であり、砂防ダムの崩壊のおそれもある。	建設政策課	②砂防ダムの目的は、大水で流されてきた土砂や土石流をため、土砂等流出などによる被害を未然に防ぐことである。建設候補地付近には、阿茂瀬川火山砂防事業により砂防ダム(堰堤)が3箇所に設置されているが、流域面積や洪水流量等を考慮し、堰堤の高さ・長さ・貯砂量が設計され、平成12年から平成14年にかけそれぞれ完成しているところである。県からは、「今回の候補地は、砂防地域ではなく、また、最も近い砂防ダムから100メートル以上離れており、管理型処分場建設にあたっては影響のないものと判断している。」と聞いている。		回答のとおり	回答のとおり	(要望でないため、次回進捗状況調べ対象から外したい。)										○

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H18当初予算	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分
H19	8	隈之城	18世帯の永野段自治会は市水道がなく、井戸水を使用している。今年は雨が少なかったため3世帯が漏水しており、生活に大変困っている。温暖化もあり、これからの心配である。早急に市水道を引いて欲しい。	上水道課	永野段地区は上水道の永野配水池から高さで約4.0m、距離で約800m離れた高台である。永野段地区でも過去、井戸枯れなどが発生しており、平成16年には全戸の聞き取り調査を実施している。自治会未加入者を含め20世帯があり、このうち6世帯が深井戸ボーリングを所有されており、また4世帯は深井戸ボーリング世帯から水を分けてもらって共同利用されており、水問題はない。残り10世帯は井戸を掘っているが、深さや位置の関係から漏水に強い世帯が6世帯で、実際に井戸枯れなど水不足で困窮されているのは4世帯を確認している。この永野段地区20世帯に水道を引くとなると、永野配水池からポンプで押し上げて給水する方法がもっとも経済的であり、事業費1億2千万円ほどになるものと試算している。問題は、これほどの投資をした場合、全所帯が負担金を払っていただき、自宅内の給水工事をして水道に加入されるか、大半の水を水道から利用して頂けるかということになり、現実としてはかなり厳しいと考える。将来の永野段地区の発展を考えて、大きな水道を造るとなれば、自衛隊駐屯地のほうから今ある管を大きな管に布設替をして2億5千万円程度の事業費となる。他の方法として農業者向けの『営農支援用水施設整備事業』もあるが、受益者が10戸以上、利用者の50%以上が営農者であることが条件であり、採択は無理であり、また地元負担金も生ずる。このほか防衛省の『障害防止事業、民生安定事業』で出来ないか当時の福岡防衛施設局からも来られ現地調査をしていただいた経緯もあるが、因果関係に乏しく補助は無理との結論である。いずれにしても永野段地区全員で話し合う機会をつくっていただき、水道局や農政サイドも含めて、どの方法がよいか協議をさせていただければと考えている。		① 永野段地区例会において水道事業での実施には無理がある旨の説明会をおこなった。 ② 南九州道トンネル工事に際し、地区の井戸水・地下水状況説明をしてある。		8月下旬頃、約4世帯が漏水で困っており給水の依頼がなされたため、中福良中継ポンプ場内に臨時の給水所を設けた。 水道施設の整備は、相当の事業費が必要であり、整備は厳しい状況である。 この地区には南九州道トンネル工事の計画があり、これに係る補償事業や防衛省の事業により整備ができないか推移を見守っている状況である。 又、漏水発生時はこれまでどおり、臨時給水所を設けることで対応したい。	相当な事業費用が必要なため、水道事業での施設整備は、厳しい状況であるのは変わらない。 漏水発生時にはこれまでのとおり、臨時給水所を設けることで対応したい。							
H19	9	隈之城	19年度予算委員会でも赤沢津の拡幅改良工事予算が計上されたと報告を受けたが工事着工の予定と見通しはどうか。	建設整備課	この要望については、前回のふれあい市民会議で出されたが、市道客勝線については全体的な改良計画は、現在のところ予定していないが交通量も多いこと、子どもたちの通学路にもなっていることから交通安全確保のために、部分的な拡幅工事を予定しているところである。施工場所については、地元と協議し銀屋歯科前付近を実施することとしている。		維持的工事で対応。	ローリ工の前付近維持課で完了	・地権者等の理解が得られず、工事着手できない。	・未着手							
H19	その他	—	永野段には防火水槽が1基も無い。	消防局	20t 級の水槽を来年度予算に計上するよう指示してある。		平成20年度予算計上済み	平成20年度事業で完結				○				○	
H19	その他	—	天然記念物に指定されているおがたまの木の手入れについてですが、枝が裂けたようになっているので添え木をしていただきたい。	文化課	前回のふれあい市民会議では、カズラが巻き付いているということだったのでカズラは撤去した。その後、横木が出ていたということで文化財審議委員・県・樹木医・教育委員会に見ていただき検討した結果、添え木をしたら折れやすくなる可能性があることと、しばらくは様子を見ることにしている。		添え木をすると折れやすくなるということとあり、現在は様子を観察中である。	添え木をすると折れやすくなるということとあり、現在は様子を観察中である。	添え木をすると折れやすくなるということとあり、現在は様子を観察中である。	添え木をすると折れやすくなるということとあり、現在は様子を観察中である。							
H19	その他	—	会議で出た意見・答弁が言いっぱなし、聞きっぱなしにならないよう経過等知らせていただきたい。	広報室	他の会場でもその様な意見があり、答弁要旨・進捗状況を各地区コミに送っているし、市のHPにも載せている。本日で計画しておりました7回の「ふれあい市民会議」が終了しますので、総括を行って連携をとって途中経過もきめて報告するようにする。		答弁要旨等、まとまり次第地区コミュニティ会長宛に送付し、市ホームページにも掲載している。できるだけ早く報告できるようにしてまいります。									○	
H21	1(1)	隈之城	運動広場の朝8時からの使用と休館日使用許可(主にグラウンドゴルフ)について	コミュニティ課	セントピアの管理は、指定管理者である薩摩川内市民まちづくり公社に委託している。開館時間については、条例上午9時からとなっているが、利用される市民や団体からの要望に応じて、可能な限り午前8時過ぎから使用できるよう運用している。休館日は、毎月第1月曜日と年末年始となっており、他の市内の公共施設とほぼ同様の取扱いとなっている。休館日の施設の使用については、施設・設備の管理上の問題、利用者の事故防止・安全確保も管理者側の重要なことであるのでご理解いただきたい。開館時間、休館日における特例的な個別の利用については、今後相談に応じられるよう、まちづくり公社とも協議したいと考えているが、原則的には現行の使用形態でお願いしたい。				回答と同様	回答と同様							
H21	1(2)	隈之城	運動広場の整備と景観木陰づくり桜の樹木植栽について	コミュニティ課	運動広場の整備については、今後整備工事を行うための予算を措置し年度内の完成を望みたい。樹木植栽については、植栽することによりグラウンドで行われる競技等に支障が生じることも考えられることから、地区コミを中心に、利用される団体とも調整をしていた上で、今後、協議・検討していきたい。				平成21年度に運動広場の改良工事を実施した。	平成22年度に運動広場の植栽工事を行った。							

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区審議員	H18当初	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分
H21	1 (3)	隈之城	備品収納簡易倉庫の設置と地区コミュニティセンターの建設について	コミュニティ課	近くの川内コミュニティ協議会、平佐西コミュニティ協議会でも、すこやかふれあいプラザ、或いは国際交流センターと併用する同じ様な形態となっている。セントピアは要望のあった和室・調理室増設工事を昨年度行い、加えて体育館・グラウンドもあり、施設設備、環境も充実している。市内には40のコミュニティセンターがあるが、築40年を経過しているコミュニティセンターや面積が300m ² 足らずの狭隘なコミュニティセンターもあり、要望にある倉庫設備も併せている。いろいろな要望が寄せられているが、こうした多くの要望には一挙に対応出来ないことをご理解いただきたい。				平成22年度に運動広場の植栽工事を実施する。	倉庫については、自治公民館等設置事業補助金を活用して地区コミュニティ協議会で設置してもらっている。 セントピアには運動広場や、体育館等各種設備も充実しており、新たなセンターの建設については、現在のところは考えていない。							
H21	3	永利	市道（馬場掛川線）の馬場交差点から藤・山田小原を経て市民病院へ通じる道路は、車両1台が通れる道幅しかなく、児童の登校時間帯には市民病院への通勤車両も多く、事故の危険がありますので改善を要望します。	建設整備課	市道馬場掛川線については、幅員が狭く急勾配であり、カーブ箇所が多く見通しが悪いことから車両等の通行に支障があること、また、地区コミにおける要整備路線の最優先道路であることも存じている。ただし、延長も約1.1kmと長く、中間部には橋梁もあることから全線の早急な改良は難しいと考えている。まずは、関係地権者等も多いことから、地元説明会等を開催し、交通量の実態調査や土地の権利調査等を行い実施に向けての可能性を探りたい。				・未着手	・未着手							
H21	その他	—	百次山田線の田中商店から野首自治会館までの道路幅は7年前に完成したが、地権者の関係でどうしても幅が足りず困っている箇所がある。是非早急に取り組んでいただきたい。	建設整備課	土地の管理者から前向きな返事もいただいているので、買収はできなくても借用することができないか、今年度は無理でも平成22年度に調査をしたいと考えている。				・未着手	・未着手							
H21	その他	—	ブラッセだいわや南国産産の周辺が、ものすごく嫌な臭いがあるので清掃をしていただけないか。市道を通るたびに臭いがあるので、早急に改善をお願いしたい。	環境課	市道の臭いの件については、市の方にまだ問い合わせが来ていなかったため、大変申し訳ないが、早急に原因調査をさせたい。				現地周辺の聞き取り調査を実施した結果、時折ドブくさい臭いがあるとのことであったので、異常な臭いを感じた時は通報を依頼してある。 また、議題提案者へ調査結果を報告し、異常な臭いがあった場合は、その場から通報をしていただくよう依頼した。 通報があった場合は、原因等の確認作業を実施する。								○
H21	その他	—	三峯池は今度の濁水で全く機能していない、三分の二以上が埋まっている。早急に対策をとっていただきたい。	耕地課	三峯池については、地元の水利組合の方々と具体的に受益地も含めて全体的に調査をさせていただきます。				三峯池は農業用ため池としては廃止されており、使用されていないと認識しております。溜池は長年維持管理がされず取水されていないこと、土地改良区における耕作者の水利権者もいないことなどから、耕地施設として何らかの事業を行うことは困難であり、今後ため池の必要性、所有者・維持管理を含め、水利関係者と話し合いをまいります。	三峯池は農業用ため池としては廃止されており、使用されていないと認識しております。溜池は長年維持管理がされず取水されていないこと、土地改良区における耕作者の水利権者もいないことなどから、耕地施設として何らかの事業を行うことは困難であり、今後ため池の必要性、所有者・維持管理を含め、水利関係者との協議を行いたい。							